

比較日本学教育研究部門研究年報 第15号 目次

《巻頭言》

古瀬 奈津子	3
--------	---

《第20回国際日本学シンポジウム》 変革と継承の明治文化—地域／都市からみた文化形成— 難波 知子、湯川 文彦 【総括】	6
---	---

〈セッションⅠ〉 地域からみた文化形成

講演

マーガレット・メール ローカル・ナショナル・グローバルの相互関係 —四竈兄弟と仙台地域の音楽文化を中心に—	11
--	----

研究発表

北原かな子 洋楽受容と士族たち—津軽地方を中心に—	21
寺尾 美保 大名華族としての島津家と鹿児島	26

〈セッションⅡ〉 都市からみた文化形成

講演

鈴木 淳 煙突と電柱の立ち並ぶ街—明治期東京の技術と生活—	27
-------------------------------	----

研究発表

湯川 文彦 官僚からみた「都市」問題—明治前期の行政文化と都市—	38
平山 昇 都市祭礼の近代史—博多松囃子を事例に—	48
満蘭 勇 商店街の成立史からみた明治時代—店舗併用住宅に注目して—	69

《第13回国際日本学コンソーシアム》いのち・自然・社会

◆日本文学部会

ギユモ・オリアヌス 『伊勢物語』における笑い—人物と語り手との関係—	76
馬 如慧 『源氏物語』における「中の品」女性論—「葎の門」を手掛かりに—	83
トムシュー・アダム 中古と中世文学における竜宮訪問のモチーフの変遷 —浦島伝説における異界の変容を中心に—	89
胡 睿慈 『空華集』の絶句における「茶」の表現—空間の変化をめぐる—	95
朱 秋而 幕末詩人館柳湾詩における自然描写—和習的な要素を中心に—	101
范 淑文 作家に語られた震災—多和田葉子を中心に—	108
松岡 智之 概要	115

◆日本文化部会

馬場貴和子 近世箱館の都市社会	118
-----------------	-----

鈴木 聖子	言葉と歌と息のあいだにいのちを描く —小沢昭一『ドキュメント・日本の放浪芸』における声の文化—	123
保田那々子	童装束としての汗衫の成立—『延喜式』を中心に—	129
ダヴィッド・ラブス	幕末時代における技術と公論—横井小楠を中心に—	135
宋 金文	災害復興過程におけるソーシャルキャピタルの役割について	141
董 航	概要	147

◆日本語・日本語教育学部会

池田 來未	複合動詞「～トオス」の史的変遷—文化化に着目して—	149
朴 美賢	積日本紀における韓国系固有名詞の声点について	156
奥西麻衣子	普通体基調会話における日本語学習者の丁寧体使用に関する一考察	161
ジェシカ・レウン	日本語学習者のメール文に見られる「断り」	167
トムソン木下千尋	I-JAS データの社会文化的考察	173
佐藤 文、サクンクルー・カンズィニー	概要	179

《比較日本学教育研究部門活動報告》

部門活動報告	182
研究プロジェクト活動報告	185
投稿規定	194
第21回国際日本学シンポジウムのお知らせ	196
バックナンバーのご案内	197
編集委員より	198